岐阜大学で「若者未来デザイン会議」を開催

2026 年 10 月 7 日に、岐阜大学において、江崎禎英岐阜県知事と岐阜大学学生による「若者未来デザイン会議」が開催されました。この会議は、未来を担う子どもや若者と知事が、県政や社会課題などについて意見交換する場として、岐阜県が開催しているものです。今回は、「環境」「農業」をテーマに学生 3 グループがこれまでの活動を通じて得た気づきや課題をもとに提案を発表しました。

【学生による発表内容】

グループ①（岐阜大学環境リーダーコース）

「Green & Innovative Future by Universities～県内大学の環境系サークルの活性化とネットワーク構築～」をテーマに県内大学における学生の環境保全活動の活性化と大学間連携の推進に向けた提案を行いました。

グループ②（GIFU AGRI NEXT）

「岐阜県の農業を、生産・加工・販売から海外・宇宙展開まで一気通貫で若者が支える仕組みづくり」をテーマに若者の視点から岐阜県農業の発展と新たな価値創出に向けた提案を行いました。

グループ③（岐阜大学環境サークル G-amet）

「湿地環境に重点を置いた保全活動を継続するために」をテーマに湿地環境の保全と生物多様性の維持に向けた継続的な取組や、多様な主体が連携した保全活動の推進について提案を行いました。

吉田和弘岐阜大学学長は、若者が地域課題の解決や未来づくりに主体的に参画する貴重な機会であると述べました。また、学生による提案や発表は、岐阜大学が目指す産業界・地域社会との共創による課題解決の実践であり、学生のアイデアを地域や県の取組に生かしていただける可能性のある貴重な場であると話しました。

発表後に行われた知事と学生の意見交換では、提案内容を更に深める活発な議論が行われました。知事からは「問題の本質にたどり着くことが大切である」「全てのニーズは現場にあり、答えも現場にある」といった言葉があり、学生たちは今後の活動を進める上での新たな視点やヒントを得ました。

今回の会議は、学生が自らの活動を見つめ直すとともに、地域の課題解決について主体的に考える貴重な機会となりました。また、知事との対話を通じた学びは、今後の活動を進めていく上で大いに役立つものと期待されます。

